

自己実現 2021

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【第3回実力考査教科・科目別講評】

〈国語〉 平均点 64.8/200

現代文 33.6/100 評論 18.1/60 (30.1%) 小説 14.9/40 (37.3%)

古典 31.6/100 古文 23.5/60 (39.2%) 漢文 8.1/40 (20.3%)

評論は、日本近代文学で小説家を主人公とする作品が多い現象を論じたもの。5割程度の得点率があった前回にくらべ大きく平均点が下がったが、記述設問で白紙答案の多かったのが最大の原因か。解答箇所が傍線部から離れると、とたんに正答率が下がるのも気になる。傍線部とその前後2、3行だけを見て解答しようとしてはいないか。問題文全体の論展開や構成をとらえ、解答要素となる箇所を見きわめていく必要がある。

小説は、現代の社会を背景にした小説とは異なり、第二次世界大戦後の世相における主人公の心情を中心に読解するものであったが、得点率は前回 **36.8%**、今回は **37.3%**で難度としてはあまり変わらなかったようである。その中で、やはり心情説明・理由説明においては、肝心不可欠な要素となる箇所を見落とした粗雑な解答が目立った。

古文は、説話集から出題したが、文章が平易であり読み取りやすかったと思う。文法や語彙の問題も、基本的なものを出题した。その結果、得点率は高めであった。ただし、仏教説話における捨身供養についての記述に関して、仏教的な知識の無さから、的外れな解答をしている者も目立った。文法や語彙だけでなく、「古典常識」のようなものも、身につけていく必要がある。

漢文は、複数の文章を読んで解答するものであったが、それぞれの内容の読み取りが浅く設問の趣旨も理解できていないものが目立ち、相変わらず得点率は低かった。用語や句形に関する事項の習得をいっそう強化していかなければならない。

〈数学〉 平均点は、文系 48.9/200 理系 65.0/200 (総合理学科 103.2/200)。

すべての授業で演習が始まりました。日々多くの問題に向き合っていると思います。改めて、今回の実力考査の問題を見てみてください。授業で取り扱った問題に似たようなものや、実力考査後の授業の知識があれば解けた問題もあると思います。ただ「難しかった」で終わるのではなく、次に同様な問題が出題されたとき、必ず解けるようにしましょう。また、今回の問題の解法を他の問題に活かすことができるようにしっかりと復習をしましょう。

演習の授業が進むにつれて、扱える知識が増えていきます。問題に対して、その中から適切な解法を選ぶことが出来るように心がけましょう。「見方を変える」、「問題を言い換える」など柔軟な発想が出来るようにしましょう。小問のない問題に対しては、解答の流れをしっかりと考えてから解答を進めていくこと、時には軌道修正も必要です。小問に分かれている問題に対しては前問の利用を検討しましょう。すべての問題が難問というわけではありません。定番の問題も出題されています。そのような問題に対して、最短時間で、正しい記述で問題を解き、時間と得点の確保をしましょう。

【今後の学習の注意点】

- ① 公式、定理の証明は教科書を読み直して理解し、再現できるようにしておく。
- ② 自分が誤答した箇所の明確な把握を心掛ける。
- ③ 正解した自分の解答だけではなく、別解が書かれた解答も理解する。(一つの解き方に固執することのないように!) 二次対策を授業に沿って11月下旬までしっかりしていくことが共通テスト対策にもつながる。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

〈英語〉

平均点 <リスニング> 55.5点 / 100点 (55.5%) <筆記> 76.7 / 200点 (38.4%)

全体の傾向として、総理は平均点が高いが、普通科では長文問題に関して文系は得点率が高く、理系は長文問題がやや低い傾向である。それに対して、文法・課題英作文は普通科が同じような得点率で、自由英作文に関しては英語Sでエッセイを書く練習をしている文系が健闘している。文系は英語R、S共に理系よりもコマ数が多く、このことから、長文を読み慣れる、英作文を書くという練習が必要だと分かる。

また、第2回実力考査と同様に、「時間が足りなかった」という感想が多かった。前回は時間配分が大切だと講評に書いたが、結局、最初の問題に時間をかけ過ぎて、第3問の小説までたどり着かなかった人が大半である。それでも、最初に文法や英作文を解こうと考えた人もいて、自由英作文までしっかりと書いている人もみられる。長文問題は長い文もあり、どれほど速く読んで、大意を掴むかがポイントである。語句の意味を答える問題や、穴埋めの問題などは前後の文脈から判断できるが、内容を全体的に捉える必要のある内容正誤問題、日本語で内容を問う問題など精読しないと解けない問題は、再度じっくり読んで、要点を掴んで答える能力が必要である。どの大学も、長文問題は出題されるので、ある程度語彙数のある文章を読み慣れておくべきである。

今回は、並べ替え問題(正答率13%)や課題英作文(正答率26.7%)は正答率が低い。どちらも文構造を知って、「読んで理解する」のではなく、「文を創り出す力」が必要である。問題集をもう一度見直して、構文力を高めよう。また、いろいろな日本語を英語に直す習慣をつけることも大切である。文法的に間違っていないが、自然ではない英文も多い。自然な英語を身につけるには、英語に慣れるしかない。ただやみくもに、問題を解いていても身につかないので、必ず復習をして、同じようなパターンの問題が出題されたら、解けるようにしておこう。

健闘を祈る。Good luck!

〈物理〉

今回は神戸大～旧帝大レベルの大問を4つ出題した。力学分野として、標準的な問題(大問1)と少し難易度の高い問題(大問4)、波動分野(光学)は基本的な問題(大問2)、実力考査では初出題の電磁気学分野(大問3)。いずれの問題も、問題文をよく読み、状況を把握する力が求められるが、キーセンテンスをおさえたいうでの現象理解ができていない場合は得点につなげていない。また、物体の運動の予測や現象について、式や図等を用いて説明する力を身に付けてほしい(これができなければ基本を理解したと言えない)。今回の得点差の原因は、夏休み中に、力学・波動分野の基本理解にきちんと取り組んでいたかである。今後、電磁気学や原子分野に費やす時間も見据えた勉強計画をたててほしい。

	得点率 [%]				平均点
	①	②	③	④	
全体	36.2	41.6	36.5	33.4	36.9
普通科	31.0	37.0	30.7	29.4	32.5
総合理学科	49.3	59.7	58.1	47.0	53.4

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

<化学>

大問4題の構成での出題。①小問集合（記号での回答）。共通テストレベルで出題し、思考力を要する問題形式を意識し、実験考察問題、グラフ問題も取り入れた。得点源にしてほしい大問であったが、正答率は低かった。②化学平衡分野の緩衝溶液に関する問題。化学平衡問題の中でも比較的取り組みにくい分野であり、誘導形式による出題であったが、正答率は低かった。復習することで定着させてほしい、というメッセージを込めた出題である。③電気分解の問題。全国の国公立の過去問題において頻出の銅の電解精錬の問題を、イオン交換膜法を交えた並列回路で出題した。前半の共通テストレベルの間は、正答率が高かったが、後半の計算や思考力を要する間では正答率が下がった。④実力考査では初めての有機分野からの出題。最新の有機分野の演習を行っている者は50%以上の正答率であるが、演習不足の者、または時間不足なのか、全く手をつけられていない者も多く、その差が激しくでた問題であった。多くの国公立大学の二次試験において、有機化合物の分野が50%程度出題されるので、ニューグローバルに掲載されるような基本的な構造決定問題においてははっきり解けるよう、早期に演習してほしい。全体を通して公立大学～旧帝大レベルでの出題であり、期待よりも平均点は低かったが、共通テスト対策の模試の結果を見ていると演習を重ねて、着実に力を伸ばしている生徒が多い。重要問題集等の難易度の高い問題集にも着手することで、演習を重ね二次試験に対応する力をつけてほしい。

<生物>

問題については、授業での解説時、解説プリントで説明している。まだ、10月でマークシート形式の問題で共通テストの準備をやる時期ではない。今やるべきことは、現在の到達レベルによって様々であるが、知識の整理ができていない者はまずそれから、既にある程度それを終えている多くの諸君は、問題としてそれらを活用できるようにすることである。そのためには数多くの演習問題に取り組むことが重要で、問題を読み解く力をつけてもらいたい。授業の中の解説で、「どこに注目するのか」、「どの部分を使えば良いか」、「どれを比較考察すればいいか」等を吸収してほしい。知っていることと、正解できることの違いを掴むことでもある。

<世界史>

平均点は42点で例年とかわらず。マーク問題の正答率が44%なので、もう少しアップできるよう、問題演習に取り組もう。マーク問題は共通テストを意識し、資料の読み取りを多用した。資料にあるキーワードをどう見抜くのかを求められているが、そのためには世界史の基礎知識をきちんと身につけておく必要がある。共通テストだからといって、思考力問題を必死に解くのではなく、まずは教科書を精読し、歴史の流れをつかみ、基礎・基本の語句と出来事の因果関係を身につけておくこと。また、国公立の2次試験で世界史を利用する者は、今回の論述問題16点のうち、10点以上は取って欲しかった。まだまだ書き慣れていないようだが、歴史事象を他人に説明できる力を身につければ、書く力も伸びてくる。頑張ってください。2次試験で世界史の論述問題がある者は担当に相談すること。

<日本史>

平均点51点。原始・古代・中世を5割、近現代を5割で出題しました。今までのセンターテスト問題に準じた正誤問題、時代順に並びかえ、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

に準じた簡単な論述問題等を出題しました。今回はその中でも、共通テストで出題されるであろう日本史の基礎知識に資料(史料)・グラフや写真から読み取る力が必要な問題を出題しました。概ね正答率は50%前後ですが、今後共通テスト対策が必要です。授業でも11月中旬より、共通テスト問題演習を予定しています。また、国公立大学二次問題で論述がある生徒は二次対策も始めなければなりません。個別に添削指導をするので、必要な生徒は、申し出てください。

〈地理〉

2年生で学習した内容を中心に出题した。日本の地誌内容はあまり出来ていないが、全般的にはよく出来ていた。基本的な事項も出来ているので、今後は演習をしていく中で共通テストの解く力をつけてほしい。

〈政治経済〉

ほぼ政治分野から出題。共通テストを意識した出題もしたが、正答率は高かった。共通テストは持てる知識を有機的に繋げる力が試される。早めに基礎を固め、問題演習に取り組むことで倫政を得点源としたい。

〈倫理〉

25問とも基本的な問題です。今後も授業をしっかり聞いて、問題演習に取り組んでください。

■全体に関するアドバイス：今回の校内模試はもとより今後受験する模試はできなかつたところの見直しをしましょう。弱点を知りそれを克服することで基礎力及び思考力が身につきます。

10/23(金)・24(土) … 「第3回全統共通テストマーク模試」

〈時間割〉

- ・10/21(水) 中間考査終了後(終礼) 受験届記入[10/23(金)放課後まで]
- ・10/23(金) 授業終了後 マークシート配布
15:30~16:40 数学ⅠA(70) , 16:50~17:50 数学ⅡB(60)
- ・10/24(土) 08:20 着席完了・マークシート配布

1~3組(文系)

08:30~10:40 地歴公民(130)

10:50~11:50 理科(60)

1~9組 12:25 着席完了

12:30~13:50 国語(80)

15:30~16:10 リスニング(40) [ICプレーヤー使用の説明(10)を含む]

◎リスニング後に自己採点(~17:00)を行います。

4~9組(理系, 総理)

08:30~09:30 地歴(60)

09:40~11:50 理科(130)

都合があってもどうしても受験を別日程で受けたい人は進路指導部(塩谷先生)に10/16(金)までに申し出てください。10/31(土)に追試験をします。

〈注意事項〉

- ※ 大学入学共通テストで受験する予定の科目の選択を可とします。(例えば、公民の選択科目を「倫理」や「政治・経済」にすることができます。)
- ※ 文系で理科②を受験したい者、理系で文系学部を受験する予定の者(つまり理系のセンター試験で、地歴公民2科目を受験する予定の者)または理系で理科の試験時間に「理科①+理科②1科目」の型で大学入学共通テストを申し込んだ者等は、この型の受験を可とします。イレギュラーの受験パターンを希望する生徒は10/16(金)までに進路指導部の塩谷先生に申し出て下さい。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。